

## 設定の理由

昨年のテーマの土を研究する上で、水や木など様々な自然物素材と一緒に遊ぶ子どもの姿が見られた。自園には、様々な種類の木や草花が豊富な園庭があり、自然物を使っての活動（製作・ままごとなど）が多く行われているため、今年度は土に限定せず、テーマを自然にした。

## 活動名

「砂水遊び」

## 活動のねらい

水を使って流れを作りながら、工夫し試したり確かめたりする

## 用意した環境

水・雨どい・ホース・バケツ・シャベル・タイヤ

## 活動内容

砂や雨どいなどを用いて山や道などを作り、工夫しながら水の流れを作って遊ぶ

## 対象年齢 5歳児クラス

## 子どもたちの様子

- ・雨が溜まったところに砂が沈殿してきれいな水ができていることに気づいていた。水たまりによっては透明のところがあり、「なんで砂がなくなったんだろう？」と疑問を声にしていた
- ・自然にできた大きな水たまりの中でタイヤを持ってきて船に見立て遊んでいた
- ・砂場では土の掘り方の調整をしながら、水の通りが良くなるようにするなど、創意工夫をしていた

## 保育者の振り返りと気づき

ホースを自由に使い、水を流したがる姿が見られたので、たらいに水を入れたり、雨どいの数を増やしたりした。保育者が遊ぶ前に「山を作ってトンネルを掘って水を流そうよ」と提案をすると、小グループで山づくりをしたり、川を合流させようとしたり、トンネルが崩れないように山を固くしようとしたりと工夫する姿が見られた。濾過にも興味をもつ姿があったので次回につなげていきたい。



## 活動名

「夏野菜を収穫する」

## 活動のねらい

育てている夏野菜に興味をもち、疑問におもったことを調べたり、収穫したりする

## 用意した環境

水・じょうろ・図鑑

## 活動内容

夏野菜に水やりをしたり、収穫したりする中で、疑問に思ったことを図鑑で調べたり、クラスで共有したりする



## 対象年齢 4歳児クラス

## 子どもたちの様子

- ・ナスとトマトの苗植えをしてから、毎日水やりをすることで、小さな変化にも気が付いていた。葉が虫に食べられていたり、ナスに傷がついていると「誰が食べたの?」「猫にひっかかれた?」と友達と考えたり、図鑑で調べたりしていた。また、ナスが黄色になったことにも疑問をもっていた
- ・夏野菜を育てた経験から、特徴をとらえて製作をしたり、発表会ではナスやトマトになりきって、自分なりに表現したりすることも楽しんでいた

## 保育者の振り返りと気づき

子どもたちから出た疑問を写真付きでフローチャートにし、保育室に掲示することで、多くの子が夏野菜に興味をもっていた。また、クラスで疑問を共有する場を作ることで、自分なりに考えたことを言葉にする姿があった。子どもたちの疑問や発見に保育者が共感し、可視化したり、クラス内で共有することで、その後の製作や発表会など様々な活動へと繋がっていったのだと感じた。今後も子どもたちの探求心や考える力、表現する楽しさなどが感じられるような活動を継続して行っていきたい。



## 活動名

「色水・氷遊び」

## 活動のねらい

自然物を使った遊びを通して、色の変化やにおいの違いに気づき、試したり確かめたりする

## 用意した環境

色水・色氷・柿の葉・花・プラコップ・タライ・スプーン  
夏みかんの葉・れもんの葉・ピーマン・すり鉢・すりこぎ

## 活動内容

事前に凍らせた花入りの色氷を溶かして観察したり、柿の葉や柑橘系の葉をすり潰して色水を作ったりするなど、自然物を使っての色水遊びをする



## 対象年齢 5歳児クラス

## 子どもたちの様子

- ・自然物をすり潰した時に「柿のにおいがする」「ピーマンはにおいがちがう」などにおいに興味をもっていた
- ・潰した自然物に水を混ぜることで、色が変わる様子に気づき、「これもいれてみよう」と次はどんな色に変化するのかわくわくしながら色水を作っていた
- ・自分で作った色水を凍らせたらどうなるかに興味をもち、事前の活動で凍らせた色水の変化を観察し、友達と共有していた

## 保育者の振り返りと気づき

- ・自然物や色水で遊ぶ中で、凍らせてみたいという発想があり、色水や育てていた朝顔の花などを凍らせ、その花を使って、色水にして遊び始めたことから、他の自然物ではどうかを試してみようとする姿につながった。作った色水のおいさに気づいた子がいて、そこから他の植物でも試したり確かめたりしていた。柿の葉をすりつぶすと柿のにおいがするなど、保育者が予想しない新たな気づきがあり、さらに活動を深めていきたいと感じた